

第 6 次総合計画 重点戦略について（案）

1. 戦略設定の考え方

設定の目的

- ・将来都市像実現のために特に重要な事項について、市政運営で重点的・分野横断的に政策・施策を推進するための政策パッケージ（目標設定、施策の関連付け）を明らかにし、各政策・施策の相乗効果を発揮させる。

設定の考え方

- ・市民の暮らしを中心とした本総合計画にふさわしい「将来都市像実現のための『鍵』」となる戦略（市民アンケート結果（右記）を考慮）
- ・三つの共通課題を前提とする中で、まちの総合力強化によりその影響を緩和・解消し、まちの持続性を確保し、未来を切り開いていくための戦略
- ・上越市ならではの「まちの力」を生かし、市民・企業などとともにまちづくりを進めていく「共通目標」となる戦略

参考：市民の声アンケート結果より（H26.1 月実施）

生活実感下位 5 項目		現在満足度下位 5 項目		重要度上位 5 項目	
1	観光 P R	1	公共交通利便性	1	防災対策
2	働く場	2	商業の振興	2	雪対策
3	娯楽・レジャー	3	再生可能エネルギー	3	医療体制充実
4	市民の声	4	観光の振興	4	防犯対策
5	NPO ボランティア	5	新産業の創出	5	介護サービス

重点戦略関連項目以外は分野別基本施策等にて対応

2. 戦略の概要

戦略名	設定理由・目的	概要	目標 中期目標は、6 次総期間の目標 長期目標は、将来的な目標	特に着目する まちの力	主な施策の内容	分野	想定される事業のイメージの例
暮らし 暮らしの安心感を高める つながりの構築	<p>・将来都市像実現のためには、市民の暮らしの安心感が不可欠な要素であり、それを支える人と人、人と地域、地域と地域の支えあいのつながり（ネットワーク）や、公共交通のつながりをより確かなものとするのが重要であるため。</p> <p>DATA 市民の声アンケート 重要上位 1：防災対策 重要上位 2：雪対策 重要上位 3：医療体制の充実 重要上位 4：防犯対策 重要上位 5：介護サービス 満足下位 1：公共交通利便性</p>	<p>市民の暮らしの安心感向上に資する人のつながりの構築・強化に向けた施策と、公共交通による生活の足の確保を重点的・分野横断的に推進する。</p> <p>ポイント ・目的に応じて、行政・団体・地域・市民・事業者など最適な構成員によるネットワークの構築・強化。 ・地域の実情に即した効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの確保。</p>	<p>中期目標 安心感が高い 「住み続けたいまち」の実感向上</p> <p>長期目標 安心感が高いので、暮らしたいまちとして「選ばれる」</p>	<p>活発な地域活動や多様な市民活動団体</p>	<p>支えあいのネットワークの構築・強化 ・分野：防災・防犯、健康・福祉、教育など安心感に関わる分野 ・地域：中山間地、中心市街地、新興住宅地など地域特性を考慮したネットワークを形成 ・年代：子育て・介護など、市民のライフステージを考慮したネットワークを形成</p> <p>支えあいのネットワークの構築・強化に資する市民活動、地域活動の促進（市民活動活性化や仕組みづくり） 公共交通ネットワークの確保</p>	<p>子育て</p> <p>防災</p> <p>健康</p> <p>高齢者福祉</p> <p>中山間地域振興</p> <p>教育</p> <p>公共交通</p>	<p>総合的な子どもの育ちの支援ネットワーク強化</p> <p>自主防災組織の結成促進や活動の支援</p> <p>総合的な健康づくりのためのネットワーク強化</p> <p>高齢者の見守り・支援のためのネットワーク強化</p> <p>高齢化の進んだ集落を支援するためのネットワーク構築</p> <p>地域ぐるみでのこどもたちの育成</p> <p>こどもや高齢者の「生活の足」の確保</p>
産業 地域の元気と働きがいを生む 産業の創出	<p>・将来都市像実現のためには、地域資源をいかした産業創出による地域内経済循環の向上を通じた地域経済の強化や、市民の働く場の選択肢の拡大が最重要課題であるため。</p> <p>DATA 市民の声アンケート 実感下位 2：働く場が整っている 満足下位 3：再生可能エネルギー 満足下位 5：新産業の創出</p>	<p>地域資源の活用を通じた地域経済の強化と、市民の暮らしの基礎となる働く場の選択肢の拡大につながる施策を重点的・分野横断的に推進する。</p> <p>ポイント ・通常の農業・産業振興の枠を超えた地域内経済循環の向上。 ・働く場の選択肢拡大のために必要な条件整備。</p>	<p>中期目標 「選ばれる産品」づくりの推進 働く場が選択肢できる 「住み続けたいまち」の実現 事業活動の場として「選ばれる」</p> <p>長期目標 働く場が選択肢できる 暮らしたいまちとして「選ばれる」</p>	<p>地域資源全般（自然、農業、歴史、文化、エネルギーなど）</p> <p>ものづくり産業</p> <p>都市インフラ</p>	<p>地域資源の魅力の向上 地域資源の保全・活用につながる市民団体、経済団体の活動の促進（活動活性化や仕組みづくり）</p> <p>地域資源をいかした産業振興の推進（地域内経済循環の向上） 雇用の選択肢の拡大につながる環境整備の推進（都市の求心力向上、ミスマッチの解消など）</p>	<p>産業</p> <p>産業</p> <p>産業</p> <p>農業</p> <p>農業</p> <p>林業</p>	<p>地勢やエネルギー資源をいかした産業の立地促進</p> <p>起業・創業の促進</p> <p>学生と地域企業のマッチング</p> <p>6 次産業化の支援</p> <p>担い手の確保</p> <p>森林資源の利活用</p>
交流 交流圏の拡大をいかした 豊かさの向上	<p>・類まれな地勢や、広域交通ネットワークの一層の強化による交流圏の拡大は、本市ならではの暮らしの豊かさ高める重要な資源やチャンスであり、地域の発展のためには、それらを十分に生かす必要があるため。</p> <p>DATA 市民の声アンケート 実感下位 1：観光 P R 実感下位 3：娯楽・レジャー 満足下位 2：商業の振興 満足下位 4：観光の振興</p>	<p>多様な交流から生み出される波及効果を拡大し、市民の暮らしの豊かさ向上につながる施策を重点的・分野横断的に推進する。</p> <p>ポイント ・多様な目的による交流の促進。 ・交流圏拡大の効果を市民の暮らしの豊かさにつなげるための仕組みの構築。</p>	<p>中期目標 多様な目的地として「選ばれる」 交流拠点として「選ばれる」 交流を通じて豊かな暮らしができる 「住み続けたいまち」としての実感向上</p> <p>長期目標 交流を通じて豊かな暮らしができるまちとして「選ばれる」</p>	<p>広域交通ネットワーク（北陸新幹線開業、上信越自動車道 4 車線化、上沼道）</p> <p>地域資源全般（自然、農業、歴史、文化など）</p> <p>都市施設（新水族館、武道館）</p>	<p>広域交通ネットワークの整備促進 交流のための魅力の向上（新水族館、広域商業、イベント、武道館、都市サービスなど） 交流拡大に向けた情報発信 交流拡大に資する市民活動、経済活動の促進 波及効果拡大に向けた仕組みづくり（回遊性の向上、来訪者を迎える体制づくりなど）</p>	<p>観光</p> <p>商業</p> <p>スポーツ</p> <p>観光</p> <p>中山間地域振興</p>	<p>新水族館を核とした地域活性化の効果拡大</p> <p>広域的な商業吸引力の向上</p> <p>東京オリンピック（2020 年）に関連したスポーツ振興</p> <p>歴史・文化資源をいかした誘客促進</p> <p>越後田舎体験事業の推進</p>